

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年04月01日

計画の名称	山形市景観重点地区周辺におけるまちなみ環境整備														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	山形市														
計画の目標	歴史的建造物が集積する地区や観光地などについて、山形市景観重点地区としての指定を進めながら、歴史や文化、賑わいの感じられる美しく趣のあるまちなみ景観を創出し、住んでいる人の郷土への誇りと愛着を育み、また、地域資源の魅力を向上させることにより、地域活性化や交流人口の拡大を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		361	A	346	B	0	C	15	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		4.15	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30末）		（R6末）
1	景観重点地区（山寺地区）及び周辺地区における来客数の増加			
	山寺地区の観光客入れ込み数	787700人/年	人/年	882000人/年
2	景観重点地区（蔵王温泉地区）及び周辺地区における来客数の増加			
	蔵王温泉地区の観光客入れ込み数	1181100人/年	人/年	1344000人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	まちなみ環境整備事業（ 山寺地区）	修景施設整備（助成）、整備 方針策定	山形市	■	■	■	■	■	82	5.92	－	
	A16-002	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	まちなみ環境整備事業（ 蔵王温泉地区）	修景施設整備（助成）、整備 方針策定、道路美装化等	山形市	■	■	■	■	■	264	5.92	－	
											小計							346		
											合計							346		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	景観重点地区景観まちづくり推進事業（山寺地区）	専門家派遣、パンフレット等作成、ガイドライン冊子作成	山形市	■	■	■	■	■	8	－	
		地元まちづくり団体の活動に対する専門家の助言や、地区独自の景観形成方針や基準を広く周知することで、良好な景観形成が期待できる。																	
	C16-002	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	景観重点地区景観まちづくり推進事業（蔵王温泉地区）	専門家派遣、パンフレット等作成、ガイドライン冊子作成	山形市	■	■	■	■	■	7	－	
		地元まちづくり団体の活動に対する専門家の助言や、地区独自の景観形成方針や基準を広く周知することで、良好な景観形成が期待できる。																	
											小計						15		
											合計						15		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	7	17	50	36	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	7	17	50	36	
前年度からの繰越額 (d)	0	2	1	10	
支払済額 (e)	5	18	41	45	
翌年度繰越額 (f)	2	1	10	1	
うち未契約繰越額 (g)	0	1	4	1	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	5.3%	7.8%	2.2%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	

案件番号：0000389738

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		山形県	市町村名	山形市	区域名	山寺地区
区域 現 況	区域の現況		当該区域は、山形市の北東部に位置し、貞観2年（860年）に開山された立石寺を中心とした門前町一帯は、国の名勝史跡に指定され、四季折々の自然と相まって東北を代表する観光地となっている。一方で華美な広告物や周辺景観に調和しない建築物が目立ち、また、高齢化や人口減少に伴う空き家・店舗も増加していることから、山形市景観条例に基づく景観重点地区としての指定を進めながら、自然と調和し、歴史性を活かした格調高いまちなみの整備を行い、地区の活性化を図る必要がある。			
	道路の現況		特に観光ルートとなっているＪＲ山寺駅から立石寺までは、県道山形山寺線を一部挟んで市道山寺停車場線、中嶋線、山寺川原町線、千手院線が通っているが、大部分が歩道のない対面通行で整備され、また、電柱の地中化も行われておらず、地区住民や観光客の安全性や景観上の問題がある。			
	公園等の現況		当該区域の中央部には、都市計画緑地の「立谷川河川公園」があり、公衆トイレや東屋、ベンチ等も整備され、観光イベントや地区行事に利用されている。また、令和元年度には市の恒例イベントである「日本一の芋煮会フェスティバル」で使用した大鍋を市内より移転・設置し、観光資源とするなど、地区住民や観光客のふれあいと安らぎの場となっている。			
	地区住民のまちづくり活動の概要		平成25年3月に地区住民によって組織された「川原町・南院まちづくり協議会」が発足し、地区内の無電柱化に向けての検討や市を含む関係機関との協議を続けている。			
区域の整備に関する基本計画	整備の目標		安全で快適な住環境の向上を図りながら、自然と調和し、山寺の歴史的な雰囲気を感じられるまちなみを整備することにより、地区住民が誇りと愛着を持って住み続けることができるまちづくりを進め、観光地としての魅力の向上や、地域活性化を図る。			
	整備の時期		令和2年度～令和11年度 （第1期令和2～6年度、第2期（予定）令和7～11年度）			
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	（別事業により整備） ※地区内の市道について、無電柱化及び道路美装化を推進し、地区住民や観光客にとって、安全・安心な交通を確保するとともに、歴史ある寺社とその門前町との調和に配慮したまちなみ景観の向上を図る。			
		小公園等	安全で快適な潤いのある空間の維持に努め、山寺らしい景観との調和に配慮する。			

		その他	(別事業により整備) ※当該区域内にある公衆トイレの洋式化、Wi-Fi 環境の整備、分かりやすい案内標識の設置等により、インバウンドを含む観光客の受け入れ環境の向上を図る。
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	当該区域内の建築物等について、山形市景観計画で定める景観重点地区独自の景観形成基準に合致する整備や修景に対して補助を行うことにより、山寺らしいまちなみ景観の誘導を図る。
		敷地	建築物の修景のほか、門や塀、建築設備等の修景に対して補助を行うことにより、山寺らしいまちなみ景観の誘導を図る。
		屋外広告物	当該区域内の屋外広告物について、景観重点地区独自の屋外広告物設置基準に合致する整備や修景、撤去に対して補助を行うことにより、山寺らしいまちなみ景観と調和した形態・意匠となるよう誘導を図る。
	その他の事項		・当該区域内の地区住民が実施するまちづくり活動に対し支援を行うとともに、景観重点地区独自の景観形成基準や屋外広告物設置基準等に関する啓発活動を実施する。 ・ホームページやパンフレット等により景観まちづくり活動に関する情報発信を実施する。

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		山形県	市町村名	山形市	区域名	蔵王温泉地区
区域 現 況	区域の現況		当該区域は、山形市の南東部に位置し、開湯 1,900 年と県内最古の歴史を持つ蔵王温泉や、樹氷で知られる蔵王温泉スキー場を有し、一年を通して多くの観光客が訪れる山形市を代表する観光地となっている。近年、老朽化した建築物や華美な看板類とともに空き店舗も目立ち、まちなみ景観の不調和もみられることから、山形市景観条例に基づく景観重点地区としての指定を進めながら、歴史ある温泉街やリゾート地に相応しい自然と調和したまちなみの整備が必要となっている。			
	道路の現況		地区の中心には、通称樹氷通りと呼ばれる県道蔵王公園線や、県道山形永野線が通っており、主要区間は道路拡幅や無電柱化、消雪化されている。 温泉街は、通称高湯通りと呼ばれる市道蔵王温泉通線を中心に整備されており、狹隘で屈曲した道路は石畳化され、歴史的まちなみを演出している。			
	公園等の現況		当該区域内に公園は無いが、民間駐車場において朝市「山形まるごと市」が定期的で開催され、地区住民や観光客のふれあいの場となっている。			
	地区住民のまちづくり活動の概要		当該地区内で組織された「蔵王温泉観光協会」は、町内会組織としての機能も担っており、生業に直結する課題として、地域活性化やまちづくりに関する取組や検討を継続的に行っている。			
区域の 整備に 関する 基本計画	整備の目標		安全で快適な住環境の向上を図りながら、歴史ある温泉街やリゾート地にふさわしいまちなみを整備することにより、地区住民が誇りと愛着を持って住み続けられるまちづくりを進め、観光地としての魅力の向上と地域活性化を図る。			
	整備の時期		令和 2 年度～令和 11 年度 (第 1 期令和 2～6 年度、第 2 期(予定) 令和 7～11 年度)			
	地区施設 等の整備 に関する 基本事項	通路等	当該区域内の道路について、拡幅や消雪化など、地区住民や観光客にとって安全で快適な道路空間の形成を目指す。			
		小公園等	—			
		その他	(別事業により整備) ※当該区域内のトイレ環境整備、Wi-Fi 環境の整備、分かりやすい案内標識の設置等により、インバウンドを含む観光客の受け入れ環境の向上を図る。			
	住宅等の 整備に関	住宅	当該区域内の建築物等について、山形市景観計画で定める景観重点地区独自の景観形成基準に合致する整備や修景に対し			

	する基本 事項		て補助を行うことにより、蔵王温泉らしいまちなみ景観の誘導を図る。
		敷地	建築物の修景のほか、門や塀、建築設備等の修景に対して補助を行うことにより、蔵王温泉らしいまちなみ景観の誘導を図る。
		屋外広告物	当該区域内の屋外広告物について、景観重点地区独自の屋外広告物設置基準に合致する整備や修景、撤去に対して補助を行うことにより、蔵王温泉らしいまちなみ景観と調和した形態・意匠となるよう誘導を図る。
	その他の事項		・当該区域内の地区住民が実施するまちづくり活動に対し支援を行うとともに、景観重点地区独自の景観形成基準や屋外広告物設置基準等に関する啓発活動を実施する。 ・ホームページやパンフレット等により景観まちづくり活動に関する情報発信を実施する。

事前評価チェックシート

計画の名称： 山形市景観重点地区周辺におけるまちなみ環境整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]